

太田市観光振興についての提言書



【 2011 年 2 月 】
太田まちづくり市民会議

目 次

I. はじめに	1
II. 提 言	
1. 産 業	3
2. 歴 史	6
3. 環 境	8
4. イベント・市民参加・メディア	10
5. 太田市の観光振興計画策定と組織の強化について	12
III. 設置要綱、会議開催状況及び委員名簿	13
IV. 添付資料	
1. 会議関係資料	
①産業の部	17
②歴史の部	18
③環境の部	20
④イベント、市民参加、メディアの部	23
⑤太田市や国、他の都市の観光振興計画	26
2. 参考資料	
①まちづくり市民会議で使用した主な資料	28
②太田市のイベント	30

I.はじめに

国はいま、観光に大きな期待を寄せています。少子高齢化が進み人口減や雇用減、消費低迷のなかで、観光が大きな経済波及効果を有していることや国民経済への貢献、雇用創出などの観点から、21世紀の重要な政策の柱と位置付け「観光立国推進基本法」を制定し、魅力ある観光地づくりと国際・国内観光の振興を推進しています。

観光振興を地域活性化の重要課題として位置付け、取り組む地域が急速に増加しています。長引く経済不況とグローバル化の浸透により、製造業を中心とする地域産業が危機に瀕する中で、自然、歴史、文化、産業など独自の地域資源を活用して観光の振興を図り、魅力ある観光地づくりを行い、地域を活性化しようとしています。

観光は、観光産業関係者以外にも、商工業や農林水産業などに及ぶ大変裾野の広い21世紀のリーディング産業といわれ、地域活性化の切り札として期待されています。

これまでの観光は、名所旧跡やレジャー施設を訪ねたり、温泉などでくつろいだりといった周遊型が中心となってきましたが、近頃は、地域のかげがえのない自然や暮らしが育んできた歴史、文化、街並みを訪ねる体験活動などを行う「新しい観光」へと変化してきました。

また、観光は、農業、商業、工業などあらゆる産業につながる総合産業で、地域の幅広い総合力によって生み出されるものであります。このため観光事業者など一部の人達が対応するのではなく、地域に住む人々が自然、歴史、文化、街並み、景観、産業など地域に備わる資源を把握し、地域を挙げて取り組むことが必要です。

太田市は、県内で製造品出荷額等 1 位、農業生産額、商品販売額も上位にあり、産業が盛んで財政状況も順調に推移してきたため、これまで観光振興には熱心に取り組んできたとは言いがたいのが実情です。太田市内には自然環境、歴史的文化遺産、先端のエネルギー施設など可能性を秘めた観光資源がたくさんあります。しかし、これらの資源は大衆受けする観光資源としては一流ではなく、このままでは多くの観光客を呼ぶことは難しい状況です。

地域が主体となり、あらゆる資源を活用するとともに、観光がもたらす社会的効果、経済的効果を理解し、観光振興が市民生活や経済活動に寄与するように施策を実行することにより、活力あるまちを実現する「観光まちづくり」を推進すべきであると考えました。

このような状況をふまえ、第2期太田まちづくり市民会議は、初回の会議の冒頭清水市長の「本市の観光は新田荘遺跡などの資源があるが、有効に活かされていない面がある。現在、整備を進めている道の駅も観光振興に有効であり、農作物も観光になると考えられる。人が集まることが観光であり、お金が動いて人が動くものである。自由で闊達な意見を期待します。」とする発言を受け、市民が主体となって市民の目線から意見を交換し、市に対し提言を行うことを目的として、12名のメンバーでスタートしました。

会議では、メンバーの共通認識を深めるため、事務局による「太田市まちづくり基本条例」の解説や太田市における観光の現状認識、会議の進むべき方向性を確認しました。その後、各委員から出された意見を「産業」「歴史」「環境」「イベント、市民参加、メディア」の分野に分けて議論を行い、テーマを「観光資源の発掘・開発・創造」と決め、観光資源の洗い出しと現状の再確認、さらに資源の活用方法について活発な意見を交わし協議を重ねてきました。

観光振興は、風光明媚な景観や温泉、レジャー施設などに限られるものではないこと、太田市には歴史的文化遺産、自然環境、先端のエネルギー施設など観光資源としては一流ではないが可能性を秘めた場所が多くあることが各委員の共通認識となりました。

限られた時間の中で、すべてのテーマについて十分な協議を行えなかった感も拭えませんが、会議としては精一杯の検討を尽くしたことをご理解いただきたく思います。

また、集まった委員が、それぞれの考え方をもち太田市のまちづくりを語るうちに、それまでは気がつかなかった市のすばらしさや課題などを話し合うことができたことを感じております。

このような観点から、本会議として太田市の観光振興について意見集約をしましたので、ここに提言書を提出します。

最後に、私たちの提言が、太田市のまちづくりのための観光振興に生かされることを期待しています。

2011年 2月
太田まちづくり市民会議委員一同

II. 提 言

1. 産業(農業・商業・工業・お土産・食文化)

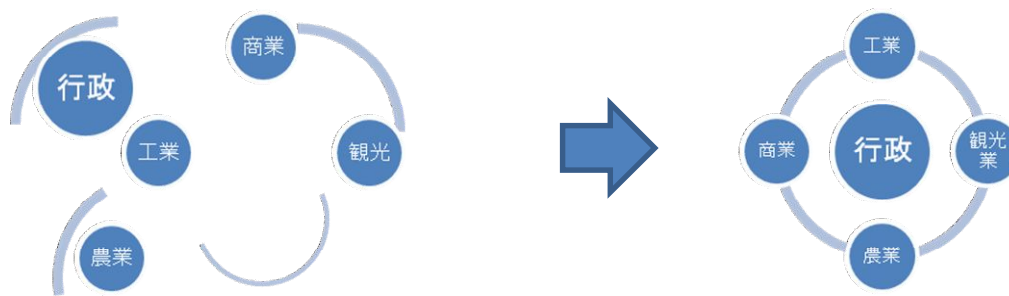
1-1 現状と課題

太田市は遠き古き先人たちの遺産からも学べるように、生活に適した地域であった事が推定出来ます。北に渡良瀬川、南に利根川が流れ、肥沃な土地は広く平らで、自然豊かな環境を活用した先人達の努力により現在の豊かさを得ました。

しかし、歴史は確実に動いている事に対して準備が少し遅れてしまった感があります。先人たちの遺産を展示しておけば観光客が訪れ、帰りには店頭で並んでいる品物を土産品として買い求めてくれ、まちはそれなりに潤ったのは昔の事でありました。今はマイカーや観光バスで観光スポットに直行し、観光案内所に立ち寄る事もなく、地元の人達との触れ合いもなくなり、市民の関心も遠くなってしまいました。

今までは、農業、商業、工業がそれぞれに努力し発展して来ましたが、今後の太田市発展を考えるには、休眠中の観光資源をブラッシュアップし、次世代への贈り物として観光産業構築のために結集する時であると考えます。

今、まさに地方は独立独歩の分権化が進む環境が整ってきている時、歴史を再考し英知を結集すべき時であります。



観光は、農業、商業、工業の潤滑油として、また第4次産業として絶対不可欠なものであると考えます。これからの観光産業は、今までの歴史的な遺産及び文化を大切に継承しながら、歴史を誘致出来る名刹庭園や体験施設等の整備、観光築場や水辺有する大型公園の新設など新しい切り口に光を当てる事も選択枝として大切であると考えます。

工業は自動車産業を中心に現在活況を呈していますが、今後、益々グローバル化が進むであろうと思われ、先行きの不安は隠せません。今まで培った技術力を駆使し、産学協同にて同業他社に差別化を図るべく大同団結を図り、潤う

まちづくりに企業貢献が望まれます。先人達が今の私達へのプレゼントとしてくれた様に。産業が栄える事により、多くの企業マンの訪問が見込まれ、まちが潤う事も忘れてはなりません。

商業については、郊外への大型モールの出店により、買い物難民が出るまでになっていますが、全国全てのまちが同じようにさびれた訳ではなく、益々元気に頑張っているまちがある事も事実です。大いに調査研究の余地があると思います。しかし大切なのは、商店主にまだ復活するための元気が残っているか、ということです。

農業は、こだま西瓜、ヤマト芋、イチゴの生産地としての宣伝活動が功を奏し、知名度も上がってきましたが、リピーターを誘致するまでには至っていない様であり、今後の戦略に期待したいものです。

食文化については現在、富士宮市、横手市と共に、「焼きそば全国三大産地」としてキャンペーン中であり、大切に育てたいものです。

お土産品も年間多くの企業マンが訪れてくる事を考えると膨大な需要が期待出来ませんが、その需要に応えられていないのは残念でなりません。

1-2 提言

ものづくりのグローバル化がますます進む中、観光業の活性化は、農業、商業、工業に次いで大切な位置を占めることになると思います。先人からのタスキを持って現在走っている私達が、その準備を行なう事は重要な課題です。最近の観光は、景勝、名跡散策よりも、健康志向もあり、体に優しいグルメと併せた参加型の体感・体験観光が歓迎されてきています。

① JA プロデュースの観光農園開設を提言します

JA がプロデュースする、体験・体感・滞在型の観光農園が、太田市には適した観光客誘致手法の一つであると考えます。春の田植・イチゴ狩り、夏のジャガ芋ほり・こだま西瓜狩り、秋の稲刈り・さつま芋ほりも観光資源です。遊休農地を活用し、野菜農園として貸し出し、収穫の楽しさを家族で楽しんでいただく事業です。参加する家族の絆をより確かなものとし、その傍らで支援する地元の人達との触れ合いを通じて太田市のすばらしさを発見し、理解を深めてもらう事は、四季を通じてのリピーターとして有望です。



② 太田商工会議所プロデュースのお接待処開店を提言します。

まちの元気を取り戻すには、まず人が動き、歩道に人があふれる事が必要です。現在整備が進んでいる御城道をさらに充実させ、太田商工会議所プロデュースのお店を開くことによって太平記時代の街並みを再現し、四季の名産、物産の展示販売を行うことを提言します。

お店を御城道からの金山城址散策起点と位置付け、美味しいもの談議をしたり、土産品情報を収集したり、楽しく金山散策を行えるようにサポートする茶店があります。金山城址ガイドダンス館に立ち寄る登山道や、高山神社を経由しての御城橋ルートもこの店にてご案内します。ボランティアによる湯茶などの接待も行いながら市民との触れ合いをしていただく「お接待処」です。お接待処には、登山に必要な杖、雨合羽、七福神巡りのご朱印帳、七福神セットなどを置き、楽しいお土産品売場の一つと位置付けます。

③ 行政による漁港の開設を提案します

念願の北関東自動車道も間もなく全面開通となり、海のない太田市に、太田国際ターミナルに次いで、市民場外市場と位置付けた漁港の開設を提案いたします。観光客・市民相手の場外市場を新設し、産地直送の新鮮魚の提供を売りとします。

④ 新たな食文化の開拓を提言します

地元産品を活用し、洒落たかわいいスイーツカフェを、空き店舗を活用して開店するのもよろしいのではないのでしょうか。かわいい子どもが集えばまちは華やぎます。

また、現在は辛口志向の時代でもあり、辛口焼きまんじゅうなども検討に値します。全国三大焼きそばとして売り出し中の焼きそばに、ヤマト芋、生姜焼き肉などのトッピング添えの開発を提言いたします。太田市の焼きそばは後発でもあり、認知には時間がかかりそうです。少し割高でもおいしければ賛辞がいただける時代でもあります。

⑤ 行政による郷土愛の推進を提言します

観光振興のためには、我々市民が郷土愛を持たなくてはなりません。そのための施策を行政が積極的に行うことを提言します。これから全国に散らばるであろう若人が、自信を持って誇らしく我がまち談議ができるようにすることは、今の私達の責務と考えます。先人達が私達にしてくれた様に。

2. 歴史（史跡・文化財）

2-1 現状と課題

- ・太田市には歴史遺産が沢山あり、B級史跡・文化財の宝庫です。国宝はありませんが、国指定史跡（新田荘遺跡、金山城址、天神山・女体山古墳、高山彦九郎遺髪塚など）や国の重要文化財（長楽寺の古文書、世良田東照宮の宝物など）が数多くあり、群馬県下で最大の歴史遺産を有しています。
- ・観光客の受入環境は比較的整っています。数多くの本格的な駐車場を持つ市営施設（新田荘歴史資料館、高山彦九郎記念館、縁切寺満徳寺資料館、藪塚本町歴史民族資料館、金山ガイダンスセンターなど）があり、更に平成24年度には大々的な「道の駅」の開設計画も進められています。道の駅はオープンすれば、一大観光拠点として期待され、観光客を受け入れる環境は益々整いつつあります。ただし、遺跡のある現地では大型バスの駐車に難点のある所もあります（円福寺・江田館など）。
- ・史跡案内のボランティアガイドは沢山います。旧市町単位や文化財・金山保存会など、新田荘遺跡や金山城址を案内できるボランティアガイド団体は沢山あり、要員も若干重複するものの大勢います。ただし、行政の支援はなく、各団体が別々に活動しているのが現状です。
- ・豊富な歴史遺産があり、多くの資料館を持ち、多数のボランティアガイドがいるにもかかわらず、市全体の観光振興に結び付けられていません。商業観光課（観光協会）、文化財課（各施設）、農業政策課（道の駅）、都市計画課、企画政策課など行政内の組織相互及びボランティア団体が別々に活動しており、連携した観光振興策が実行されていません。
- ・合併して6年目を迎えましたが、以前の市町単位の住民意識が未だに残っており、他地区の歴史遺産についての関心や興味はまだまだ薄いというのが現状です。市外の観光客を誘致するためには、先ず、市民が地元に関心を持つ必要があります。

2-2 提言

① 観光振興連絡協議会（仮称）を設置し関係者のベクトルを合わせること、また、行政内部相互および民間の組織を結集して、観光振興に取り組む体制をつくることを提言します。

- ・観光振興のための専任組織を新設するなど、行政の取組体制を強化します。
- ・観光振興に携わる関係者が集まり、お互いの観光振興に対する意見の交換を行い、ベクトルを合わせて市全体としての観光振興策を実行します。

② 更なる観光案内の広報、積極的な外部 PR を提言します

- ・観光パンフレットに観光案内所の存在やボランティアガイドの紹介を掲載し、観光客の受入体制を積極的にアピールします。また、太田駅の観光案内所は、側面の窓ガラスを透明にし、フレンドリーな「おもてなし」スペースとします。
- ・市立の学校の総合学習に、市内の歴史研究や史跡、資料館の現地研修を取り入れます。

③ 「道の駅」の情報発信コーナーを観光振興の目玉とすることを提言します

- ・平成 24 年度に開設する「道の駅」の情報発信コーナーに観光案内施設を設け、観光振興の一大拠点とします。
- ・現在、新田荘歴史資料館にある太田市近辺のジオラマと史跡写真を改造して移設します。
- ・東京国立博物館にある、市内で発掘された国宝「挂甲武人埴輪」の実物大レプリカや市内の人間国宝の遺作（日本刀、竹細工）を展示します。
- ・観光案内コーナーを設置して、来場者に個別に対応します。このコーナーでは、「おもてなし」のできる給茶サービスを地元老人会ボランティアで対応してもらいます。

また、ボランティアガイドの待機場所を設け、観光客の案内に対応してもらいます。予約客との待ち合わせや、土曜・日曜・祝日は交代で、少人数・予約なしの来場者に対し現地案内ガイドを行ってもらいます。原則的には、道の駅から目的地、目的地から道の駅の U ターンコースとします。観光客の車に同乗し、車中説明も含め懇親を深め、ガイドの移動手段の負担をなくします。この「U ターン同乗ガイド」については金山ガイダンスセンターでも実施が有効であると思います。

④ 1%まちづくり事業を拡大して、「おもてなし」事業に対しても同様の活動支援を行うことを提言します。

- ・ボランティアガイド要員育成事業の支援を行います。講師謝礼・講義資料作成・現地研修などの費用を援助し、ガイド要員の確保とスキルアップを支援します。
- ・観光案内活動を支援するため、旗・のぼりなどの製作や制服・制帽などの整備、現地ガイドの小道具の製作などの費用を援助し、ガイドの「おもてなし」精神を高揚させます。

3. 環境（緑、水、エネルギー）

3-1 現状と課題

太田市には、市民にとって心の故郷である金山や八王子丘陵、新田地域の湧水群など、豊かな自然環境が残されています。また2ヶ所のエコハウスや城西の杜の太陽光発電群など、エネルギー関係には住民も関心を持ち、国内でも先端を走っています。

しかし、行政や住民の、環境を観光に結び付ける認識が薄く、観光資源として認識、活用されず、広報活動も充分に行われていません。恵まれた自然環境やエネルギー施設の利用を積極的に推し進め、環境と観光が融合したまちづくりを考えることが重要です。

また、太田市には様々な基本計画・構想がありますが、実施されていない項目もあるので、確実に実施する必要があります。

3-2 提言

① 緑（樹木）や水を生かした地域づくりを行うことを提言します

- ・国指定の史跡「矢太水源」から「ホテルの里公園」、ため池百選に指定された「妙参寺沼」を結ぶコースを親水型の散策場所として活用し、緑と水辺で楽しく遊べる場所にします（水辺の楽校）。
- ・市民会館跡地を緑に覆われた公園にし、イベント広場や緊急時の避難場所として活用します。
- ・駅前広場や道の駅、道路に樹木を増やし、緑に覆われたまちづくりを行います。
- ・個人で管理している樹木や生垣の保存について、助成制度を充実させます。
- ・行政は、事業者が敷地の緑化などを積極的に行うよう指導します。

② 日本一エコな観光地を目指すことを提言します

- ・毎月定期的に、太田駅からエコハウス、スーパーエコハウスなどを、エコカー（EV）やバスで巡るツアーを開催します。
- ・エネルギー施設と自然環境、歴史文化を組み合わせ、見学・研修会を開催します。

③ 太田市の基本計画・構想が確実に実行されることを提言します

- ・環境基本計画
- ・太田市緑の基本計画

- ・太田市景観計画
- ・太田市都市計画マスタープラン
- ・里山自然整備構想（八王子丘陵）

4. イベント・市民参加・メディア

4-1 現状と課題

- ・お祭りは、地域住民が考えて始めたものであるが、市の行事として認知されていません。
- ・イベントに対する市民参加が少なく、経費をかけてもそれだけの効果が見込めないという状況です。広報の仕方に問題があるのではないかと考えられます。
- ・メディアは、こちらから相当働きかけないと取り上げてもらえません。
- ・イベントの主権が異なり分かりづらい面があります。
- ・各団体や企業などのバックアップ体制を整える必要があります。
- ・市民、行政、観光客を一体化することが望ましく、観光振興にとって効果的であると思われます。

4-2 提言

① 「観光都市プロジェクトチーム」の開設を提言します

- ・イベントは市内に多くの人を集めることができる観光資源ですが、太田市においては主催者の相違などの問題から必ずしも成功しているとは言えません。
- ・そこで、市内で開催されるイベントを魅力あるものとするためのプロジェクトチームをつくることを提言します。
- ・チームでは太田市の個々のイベントについて協議・提案し、主催者や参加者を支援します。
- ・チームのメンバーは横断的で総合的な支援ができるように、行政、市民、地区代表、商工会議所（商工会）、各種団体、企業のトップ、学生などからの選出とします。

② 「おおた市民参加の日」の設定を提言します

- ・市民一人ひとりが主体的に参加するイベントの設定を提言します。最近では清掃活動など、環境を守る運動自体を観光資源として有効活用する動きが盛んになっています。例えば、富士山では毎年「富士山クリーンツアー」を開催し、多くの人を集めています。
- ・そこで、現在太田市で行っているクリーン作戦など、「市民ボランティア清掃」をリニューアルし、観光資源をきれいにする日を設けます。

③ 「フィルムコミッションおおた」の開設を提言します

- ・近年、多くの自治体が観光振興や地域振興を目的としてフィルムコミッションを設立し、映画等の撮影場所を誘致しています。ロケ地等で利用された施設や場所は新たな観光地となり、多くの集客を実現している自治体もあります。
- ・撮影場所等における自治体側の要望と、撮影者側の要望が一致しないこともあり、必ずしも太田市が考える観光資源が選択されるとは限りませんが、新たな観光資源の発掘手段として非常に有用であると考えられます。
- ・そこで、太田市もフィルムコミッションを設立し、新たな観光資源の発掘機会を逃さないよう、撮影者側の要望に即座に応えられるような体制づくりをする必要があると考えます。

5. 太田市の観光振興計画策定と組織の強化について

5-1 現状と課題

- ・ 太田市の観光振興については、観光振興計画が策定されておらず、新生太田総合計画の中で（基本構想、行動計画、施策指標、実施事業）取り上げられていますが、理念や基本方針が明確でなく、推進体制等も明確になっていません。
- ・ 観光に関する行政の担当部門（商業観光課、文化財課、広報課、花と緑の推進課、農業政策課、環境政策課、都市計画課、地域振興部など）が分かれています、連携した活動が行われていません。
- ・ 観光資源となりうるものは多くありますが、充分把握されておらず、活かされていません。また、宣伝・広報活動が十分行われていません。
- ・ 住民に観光地としての認識がなく、まちぐるみの活動が不足し、「おもてなしの心」に欠けています。
- ・ 観光客誘致に関し、これまで行政や市民の関心が低く、観光客の立場にたったまちづくりがされていません。
- ・ 地域の持続的な発展に向けて、市民や行政が協働し、長期的な観光地づくりとまちづくりを一体的に行う「観光まちづくり」が重要です。

5-2 提言

① 観光振興計画の策定を提言します

- ・ 市民（学生）、事業者、商工会議所（商工会）、行政などで検討委員会を作り、観光についての理念や方針、目標などを示した観光振興計画を策定し、「観光まちづくり」を推進します。なお、実施事業については今回の市民会議の提案を生かした具体的な事業を計画し、キャッチコピーは公募します。

② 組織の強化を提言します

- ・ 市役所内に、観光についてとりまとめを行う組織をつくり、窓口を一本化して関連部門との横断的連携を強化します。
- ・ 市民、事業者、商工会議所（商工会）、行政などを構成員とする観光振興組織の設立を図り、協働のための体制づくりを進めます。
- ・ 観光振興策とまちづくり、商工業振興、地域文化継承などの各施策との連携を強化し、観光まちづくりに総合的に取り組んでいきます。
- ・ 観光資源に関する情報を一元化し、様々な情報提供の手法を活用して市内外に幅広く発信していきます。

Ⅲ. 設置要綱、会議開催状況及び委員名簿

太田まちづくり市民会議設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、太田まちづくり市民会議の設置、組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、太田市まちづくり基本条例に基づき市民参画と協働のまちづくりを進め、広く市民の声を反映させた市政運営を図るため、太田まちづくり市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第3条 市民会議は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 本市のまちづくりに対する提案及び取組に関すること。
 - (2) 太田市まちづくり基本条例の見直しの検討に関すること。
 - (3) その他必要な事項に関すること。
- 2 市民会議は、前項の協議の結果を市長に提案するものとする。

(組織)

第4条 市民会議は、20人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は、公募市民とし、市長が委嘱する。

(会長及び副会長)

第5条 市民会議に、会長及び副会長を置くものとする。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、会務を総理し、市民会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第6条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は次に掲げる区分に応じて開催するものとし、原則として平日の夜間とする。
- (1) 定例会は、原則として月1回とする。
 - (2) その他必要に応じて随時開催する。

(提案の検討及び結果の報告)

第8条 市長は、第3条第2項の規定により市民会議からの提案を受けたときは、これ

について検討し、その結果を市民会議に報告するものとする。

(庶務)

第9条 市民会議の庶務は、企画部企画政策課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、会長が市民会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成19年4月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年6月18日から施行する。

第2期まちづくり市民会議開催状況

年	月日(曜日)	内 容
平成21年 (2009年)	4月28日(火)	委嘱状交付、自己紹介、市民会議の説明
	5月28日(木)	まちづくり基本条例の説明、観光に関する意見発表
	6月18日(木)	会長、副会長決定、今後の進め方
	7月16日(木)	太田市の観光の現状、懇親会開催
	8月20日(木)	観光関連の法律確認、講演会の内容紹介、今後の進め方、日程等の検討
	9月17日(木)	テーマの検討
	10月15日(木)	〃
	11月19日(木)	テーマの検討、決定
	12月17日(木)	提言内容の検討【イベント、市民参加、メディア①】
平成22年 (2010年)	1月21日(木)	〃
		【イベント、市民参加、メディア②】
	2月18日(木)	〃
		【産業(商業・工業・農業・お土産・食文化)①】
	3月18日(木)	〃
		【産業(商業・工業・農業・お土産・食文化)②】
	4月15日(木)	〃
		【歴史(産業遺産・文化遺産)①】
	5月20日(木)	〃
		【歴史(産業遺産・文化遺産)②】
	6月16日(水)	〃
		【環境(緑・水・エネルギー)①】
	7月15日(木)	〃
		【環境(緑・水・エネルギー)②】
	8月19日(木)	提言書の作成
8月25日(水)	リーダー会議	
9月 2日(木)	提言書検討分科会(産業)	
9月 9日(木)	提言書検討分科会(歴史)	
9月16日(木)	提言書検討分科会(イベント・市民参加・メディア)	
9月24日(金)	提言書検討分科会(環境)	
10月21日(木)	提言書の作成	
11月18日(木)	〃	
12月16日(木)	提言書の作成	
平成23年 (2011年)	1月27日(木)	提言書の最終確認
	2月17日(木)	提言書の提出

第2期太田まちづくり市民会議委員

No.	役職	氏名
1	会 長	西 村 豊
2	副 会 長	福 田 義 雄
3	委 員	秋 山 忠 良
4	”	青 木 秋 仲
5	”	窪 田 初 代
6	”	新 藤 忠 彦
7	”	高 倉 二 男
8	”	棚 澤 一 樹
9	”	塚 田 進 一
10	”	徳 永 ヒロヒサ

IV. 添付資料

1. 會議關係資料

① 産業の部

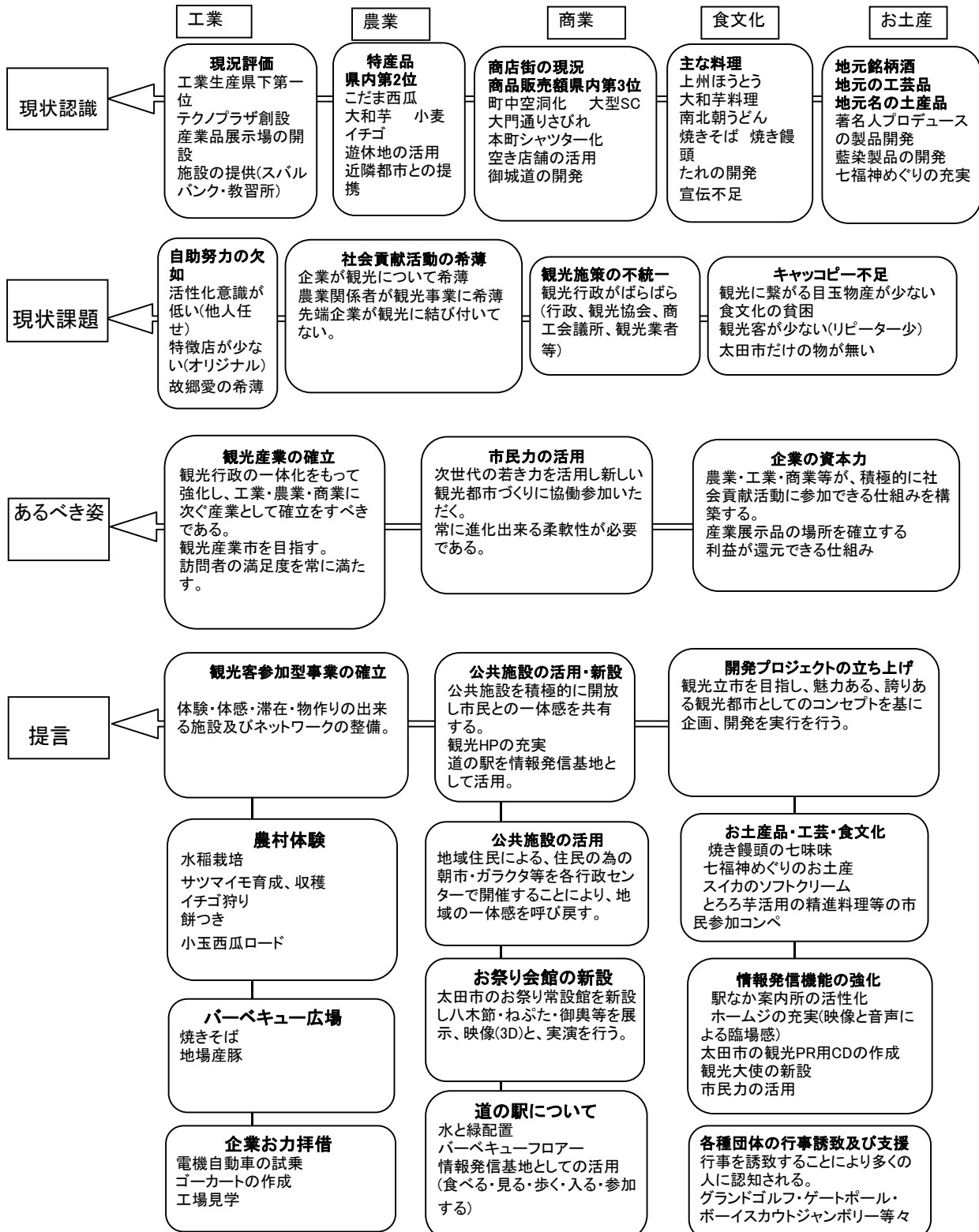
まちづくり市民会議 委員の意見のまとめ 3

文責 塚田進一

テーマ 『観光資源の発掘・開発・創造』のために

キーワード②：産業(商業、工業、農業、お土産、食文化)編

経過 3月18日の検討会の意見をまとめたものです。



② 歴史の部

1. 現状

- ・歴史遺産は B 級史跡・文化財の宝庫である
 - 古墳関係：天神山 女体山 塚回り 朝子塚 二ツ山 鶴山
 - 遺跡関係：天良七堂 郡庁跡 中溝・深町 東山道
 - 新田氏関連：円福寺 総持寺 長楽寺 明王院 生品神社 反町館跡
江田館跡 曹源寺
 - 岩松・由良氏関連：金山城跡 金龍寺
 - 徳川氏関連：大光院 満徳寺 東照宮 例幣使街道
- ・太田市には施設は沢山ある
 - 新田荘歴史資料館 高山彦九郎記念館 縁切寺満徳寺資料館
 - 藪塚本町歴史民族資料館 金山ガイダンスセンター
 - 道の駅・仮称“新田の郷”（平成 24 年 4 月オープン）
- ・ボランティアガイドも沢山いる
 - 新田荘史跡ガイドの会 30 名
 - 太田市文化財ボランティアの会 10 名
 - 新田町史跡ガイドの会 10 名
 - 尾島史跡ボランティアガイド 10 名
- ・産業遺産は？
 - 中島飛行機（株）の遺産は残っているか？中島旧邸の開放は？先端産業は？
 - スバル アイリス その他 工業団地 伝統産業 繊維産業 ニット産業

2. 問題点

- ・地元の市民の関心・興味が薄い
- ・関係者がバラバラに動いている
 - 群馬県：東部行政事務所
 - 太田市：企画政策課 商業観光課 文化財課 農政課
 - 民間：観光協会 ボランティア団体 地権者（住職、宮司、氏子総代）
 - 現地施設：新田荘歴史資料館 縁切寺満徳寺資料館
藪塚本町歴史民族資料館 高山彦九郎記念館
金山ガイダンスセンター
- ・ボランティアガイドの拠点（たまり場）がない

- ・通過地観光客が多い
山間部の温泉地へ行く途中
昼食程度で物販に結びついていない
- ・近隣都市との連携が乏しい（伊勢崎・桐生・館林・足利）

3. ご意見

- ・行政とボランティアが一体となった観光案内
- ・DC キャンペーンの活用
- ・まんが「太田の歴史」や「市民憲章カルタ」
- ・遺産・遺跡に映画のロケ誘致

4. 改善案

- ・市立の教育機関での地域の歴史講習・現地研修（市営施設の見学・学習は必須）
- ・市営のボランティアガイドの拠点をつくる
シーズンの祝休日にはガイドが交代で常駐する
（ガイドは、拠点—目的地—拠点の巡回とする）
（候補地）歴史公園 金山 GC 太田駅 道の駅
特に道の駅についてはガイドの待ち合わせ場所兼休憩所
経済的効果（土産物購入）が大いに期待できる
- ・現地施設でボランティアガイドの紹介、案内をする
- ・市役所関係部門の観光振興策の「事業仕分け」をする（各キーワード共通）

5. 提言

- ・上記を踏まえ実現可能な2・3点に絞り、即実行案として提言する（後日まとめます）

6. 要調査事項

- ・行政審査委員会とは
本日の太田市広報の8頁の冒頭に『平成22年度行政審査事項が「観光行政について」と決定した』とあります。我々の検討会との関係は？
- ・ググッとぐんま観光宣伝推進東部地区部会開催
5月27日（木）14時～16時 新田荘歴史資料館
おもてなし講習会 「ホテルふせじま」女将
群馬デスティネーションキャンペーンの推進状況の説明

③ 環境の部

まちづくり市民会議 委員の意見のまとめ

キーワード：環境（緑・水・エネルギー）

●現状と課題

- ・太田市には観光と結びつく環境資源が多くある。
- ・西山公園が「日本の歴史公園百選」に選定された。
- ・妙参寺沼が「ため池百選」に選定された。
- ・自然環境に恵まれているため、管理保護に関して遅れている。
- ・観光振興計画（太田市の観光をどうすべきかのビジョン等）が無い。（全体）
- ・行政や住民の観光についての認識が少ない。（全体）
- ・市民の関心、認知度の低いスポットが多い。
- ・環境と観光が融合したまちづくりを再考する必要がある。
- ・情報の発信が少ない。（全体）

（緑）

- ・金山や北部運動公園の芝桜、ゆりの里等整備されているが広報が不足している。
- ・北部運動公園の芝桜や金山の赤松は管理が必要。
- ・金山のハイキングコースは手入れやパンフレットの統一が必要。

（水）

- ・新田湧水群、ビオトープ、金山の古井戸、ため池等資源はあるが広報が不足。
- ・公共施設に市民が親しめる水場が少ない。
- ・川（利根川、渡良瀬川、早川、石田川、大川、高寺川、憩川、蛇川、八瀬川、休泊川、長手川等）を有効活用する必要がある。

（エネルギー）

- ・環境（エネルギー）については先端を走っている。
- ・行政も積極的に取り組んでいて、市民も関心を持っている。
- ・次世代エネルギーパークの建設。
- ・エコハウスの有効活用を検討する必要がある。

●あるべき姿

- ・環境基本計画、景観計画、緑の基本計画、バイオマスタウン構想等の実現。
- ・観光についてビジョンを示した観光振興計画を策定する。
- ・太田市全体で美しいまちづくりを行う。(市の基本方針)
- ・緑や水を活用した地域づくりを行う。(市民のコンセンサスが必要)
- ・自然と歴史文化を生かした緑のまち。
- ・みどりと水辺で楽しく遊べるまち。
- ・緑(山、樹木、花木)を大切にして生活する。
- ・天より与えられた恵みを活用する。
- ・まち歩きが出来るまちの実現。
- ・金山を中心に自然豊かな太田市をアピールする。
- ・環境のまち太田を売り込む。
- ・環境資源を観光に結び付けてPRする工夫をする。
- ・CO2の削減、2027年に半減。(太陽光発電、風力発電、電気自動車の普及)

●提言

- ・観光振興はまちづくりから取り組む。(全体)
- ・市民や事業者、観光客と一緒に観光振興計画を策定する。(全体)
- ・日本一エコな観光地を目指す。
- ・市民会館跡の全面公園化。(イベント広場、物産市場、避難場所の確保)
- ・公共用地、駐車場に広葉樹を植樹する。
- ・憩いとなる「まち中公園」を造る。
- ・里山保存・垣根・保存樹木のさらなる支援を行う。
- ・金山ハイキングコースの手入れを行う。
- ・水源の保護、水辺の休日、水のある環境を後世に残す。
- ・七福神めぐりのお休み所公園を作る。
- ・小規模水力発電機の設置を推進する。
- ・レンタル自転車(BIXI)を導入する。
- ・城西の杜やエコハウスに研修に来る人を観光に結び付ける。
- ・エコハウスに市民が足を運ぶための工夫を考える。
- ・歴史的な資産と自然環境を結び付けて見学出来るコースを設定・整備する。
- ・観光資源をまとめて詳細なガイドブックを作り、市民や観光客に配布する。
- ・地域毎にモデルコースを作り、徒歩や自転車で回れるようにする。
- ・太田かるたを活用する。
- ・太田で休日。
- ・市民参加を促す

- ・観光スポット+α

環境関係の観光資源

(緑)

- ・西山公園：日本の歴史公園百選
- ・金山の自然、ぐんま子供の国（里山の復元、ホタル）
- ・ハイキングコース（金山、八王子丘陵）
- ・にった花トピア、関東山野草展、関東菊花大会、太田市民さつき祭り
- ・北部運動公園（芝桜、ゆり）
- ・桜（八瀬川他）　ボケ（冠稲荷神社）　カタクリ（丸山）　牡丹（大慶寺）
アジサイ（さざえ堂）　赤松（金山）　ケヤキ（新田神社）
- ・屋敷林、巨木

(水)

- ・妙参寺沼（ため池百選）
- ・新田湧水群
- ・上州太田ビオトープの里（菅塩沼）
- ・親水公園（こどもの国、尾島の石田川、ホタルの里公園）
- ・金山の井戸、池（日の池、月の池、桜の井戸、梨の井戸）
- ・利根川、渡良瀬川、早川、石田川、大川、高寺川、聖川、蛇川、八瀬川

(エネルギー)

- ・エコハウス（北部運動公園）
- ・スーパーエコハウス（城西の杜）
- ・城西の杜住宅団地の太陽光発電
- ・次世代エネルギーパーク
- ・バイオマスタウン
- ・電気自動車（富士重工）

④ イベント・市民参加・メディアの部

- 【提言】 キーワード : イベント・市民参加・メディア
 キャッチコピー : 「観光のまち 太田」 : 「太田市が観光都市になる」
 : 「太田にお客様を呼ぼう！」 : 「美しいまち 太田」
 : 「太田市未来予想図」 : 「ビートルズが流れるまち」
 : 「観光（ツーリズム）力」 : エコツーリズム
 : グリーンツーリズム : フードツーリズム

出された主な意見（イベント編）

- ・ 太田夏祭り、尾島ねふた祭り、藪塚かかし祭りなど、お祭りの広報レベルが低い。
- ・ お祭りは本来、地域住民が考えて始めたものである。
- ・ 観光振興の本質は魅力にあると考えられる、魅力がなければイベントを広報しても無理である。その魅力についても確認する。
- ・ 北部運動公園の芝桜は、単独で観光客を集めるのには限界がある。結婚式やフラダンス、八木節など他のイベントと組み合わせるのはどうか？
- ・ イベントを総合的に提言すると実効性が伴わない。
- ・ 太田市が関わっていないイベントに提言しても効果がないため市が主催するイベントを確認する必要がある。
- ・ 別紙「太田市のイベント」の期待できる観光客については会長の主観で評価されているので全員で評価しなおすべきだ。
- ・ 観光とは「食べる・飲む・泊まる」がなければならない。現状では「トイレを使い、ごみを落とし、違うまちへと移動する」という印象がある。
- ・ 太田市主催のイベントは力を入れるポイントがずれている。
- ・ 太田市のイベントから、市の主催にこだわらず観光資源になるものをピックアップする。
- ・ 市が主催するイベントがあまりに少なく、市の観光政策そのものを表している。イベントに市がどのように関わっていくか議論すべきだ。
- ・ 観光客は他では見られないものを求めてやってくる。芝桜は他でも開催している、太田独自のものではない。やがて飽きられるので、他のイベントと併用して開催する。
- ・ お祭りは市が関与せずに、地域で行っているものがほとんど、太田夏祭りも以前のように市が関与する方向に戻せないか？
- ・ 芝桜は、初年度はさまざまな団体ボランティアが参加していたが、その後参加者が減り、実質的に市が管理をしている。なぜこうなったのか？
- ・ お祭りを地元任せしているのは、市にお金がないからか？

- ・ 芝桜とゆりの咲くあいまに「すずらん」や「ライラック」の花を咲かせるようなイベントを行いたい。
- ・ 全日本実業団駅伝マラソンは、地元スバルが出演しており、テレビ中継もあるので市の観光イベントとしてもっと力を入れるべきではないか。

出された主な意見（市民参加編）

- ・ 市の行事で市民参加が足りない、経費をかけて効果があるのか？
- ・ 市民参加を募るには、回覧板、市民同士の口コミなど。
- ・ 観光について、太田の高校生で興味がある生徒からアイデアを出してもらう。
- ・ 参加してよかったと実感がわくものは、口コミで人が集まる。
- ・ 太田市にある大学の学生に意見や発想を取り入れるような働きかけをしようか？

出された主な意見（メディア編）

- ・ フィルムコミッションは桐生市が導入していて効果的である。
- ・ フィルムコミッションを活用すべきである。
- ・ メディアの活用は諸刃の剣である。よい情報も悪い情報も即座に広範囲に伝わるので注意が必要である。
- ・ フィルムコミッションで何を PR するのか、観光の中身の充実が先ではないのか？
- ・ グラフぐんまに縁切り寺「満徳寺」の記事が載っている。2010年2月号には、世良田東照宮が掲載された。お金をかけなくても、このような媒体を利用する PR 方法もある。ただし、掲載されるにはそれなりに努力が必要だ。
- ・ マスコミはこちらから相当働きかけないと来てくれない。

●現状と課題

- ・ いろいろあるようで、何もない。
- ・ 他でやっていることをなぞるな。
- ・ 「見る」「食べる」「遊ぶ」だけでは人を集められない。
- ・ 口コミに左右される。安くて近くて込まない場所。
- ・ 特産品の活用。
- ・ 観光資源開発の方向性。
- ・ 太田市観光資源、特産品再発見。
- ・ 点から面への展開。
- ・ 地域を一体化する。
- ・ 観光客（ゲスト）の求めているものは何か？

●あるべき姿

変更案「本来のありかた」「理想と現実」

「ゴール」「太田市はこうなる」「太田市はこう変わる」

「観光力」

「観光のあるべき姿」

観光お勧めホームページを立ち上げる

着地型の観光

体験メニュー

知らない土地でまずあなたは何をしますか？

- ・ 太田でしか出来ない事は何か？
- ・ ゲストに期待を持たせる
- ・ 口コミで記憶させる
- ・ 体験させる
- ・ 見せ方の工夫
- ・ サプライズ

●提 言

- ・ コンテンツツーリズム（映画ロケーション）
- ・ とにかくエコにこだわる（徒歩・自転車・徒歩の駅・自転車の駅）
- ・ 街の中をぐるっと歩こう（街道・環状線など名前をつける）
- ・ 次世代型観光都市をアピールする
- ・ マスコットキャラクターはかわいいが基本
- ・ 車好きな人を集める「スバル博物館」
- ・ 太田市全体を「セントラルパーク」してしまおう！
- ・ 太田市民あいさつ運動キャンペーン「こんにちは」
- ・ 太田市クリーン作戦キャンペーン「シンガポールに近づけ、追い越せ」
- ・ 郷土愛をみんなでもとう！郷土食、地域で愛され続けてきた料理
 - ◇ 大和芋チップス
 - ◇ 太田産地粉でつくる焼きそば
- ・ 自然しらべ（湧き水・金山）

⑤ 太田市や国、他の都市の観光振興計画

I. 太田市の観光振興計画について（現状）

太田市の観光振興については新生太田総合計画の中で取り上げられている。

----以下は新生太田総合計画から抜粋-----

1-1 総合計画の基本構想で観光資源を生かすまちづくり（P26）

史跡や観光施設周辺の環境整備を進め、新田荘遺跡、金山城跡、藪塚温泉郷などを中心とした観光ネットワークの整備に努めるとともに、観光キャンペーンを展開し、観光誘客に努めます。

1-2 行動計画 観光事業の推進（P180）

本市は金山などの自然に恵まれ、その麓には新田氏や徳川氏ゆかりの史跡、天然記念物などが点在しています。また、観光行事として太田市花火大会、関東菊花大会、尾島ねふた祭り、RC 航空ページェント、にった花トピア、藪塚かかし祭りなどのイベントを通じて、多くの観光客が訪れています。

今後は、これらの観光資源の保護に努めるとともに、魅力ある観光ネットワークの整備が必要です。そこで、両毛地域各市町と連携した広域な観光宣伝や整備を行い、県内外から観光客の誘致を図ります。

1-3 施策指標観光客の誘致（P180）

344 万人（平成 19 年）→376 万人（平成 23 年度）（9.3%増）

1-4 実施事業（P181）

優れた観光資源の保護に努めるとともに、魅力ある観光ネットワークの整備が必要です。そこで、両毛地域各市町と連携した広域的な観光宣伝や整備を行い、県内外から観光客の誘致を図ります。

- ・観光振興事業
- ・呑龍公園整備事業
- ・観光物産館設置事業（道の駅内）
- ・観光案内看板整備事業
- ・ねふた保管庫兼作業所建設事業

II. 国や他の都市の観光振興計画について（インターネットで調査）

① 国の計画推進体制等

- ・観光立国推進基本法（平成 19 年観光基本法から改定）
- ・観光立国推進基本計画（平成 19 年 6 月 29 日閣議決定）
- ・観光立国推進戦略会議（観光立国実現のための施策を実施するため、学識経験者で構成する会議）

② 群馬県の計画

- ・はばたけ群馬観光プラン

③ 近隣都県の観光振興計画

- ・東京都観光産業振興プラン
- ・観光かながわグランドデザイン
- ・観光立県ちば推進ビジョン
- ・埼玉県外客来訪促進計画
- ・新茨城県総合計画「元気いばらき戦略プラン」
- ・山梨県観光振興基本計画
- ・「観光立県長野」再興計画 [2008～2012]

④ 群馬県市町村の観光振興計画

(1) 観光推進計画を作成している市町村

- ・高崎市：高崎市観光振興計画（H22年3月策定）
- ・渋川市：渋川市観光基本計画（H21年3月策定）
- ・草津町：草津町観光立町推進基本計画（H21年3月策定）
- ・板倉町：観光振興計画
- ・桐生市：（策定中）
- ・富岡市：（策定中）

(2) 総合計画等に盛り込まれている市

- ・前橋市：第六次前橋市総合計画
- ・桐生市：桐生市新生総合計画（観光の活性化：魅力ある観光地の整備）
- ・伊勢崎：総合計画（市魅力ある観光・文化振興）
- ・太田市：新生太田総合計画（観光資源を生かすまちづくり）
- ・沼田市：第五次総合計画（観光資源の発掘・活用）
- ・館林市：たてばやし市民計画 2010 後期基本計画
- ・藤岡市：第四次藤岡市総合計画
- ・富岡市：富岡市まちづくり計画（地域資源を生かした持続可能なまち）
- ・安中市：安中市総合計画（にいぎわいと活力のあるまちづくり）
- ・みどり市：みどり市総合計画（魅力ある観光地づくり）
- ・榛東村：第5次榛東村総合計画
- ・吉岡町：第4次吉岡町総合計画後期基本計画

IV. 添付資料

2. 参考資料

① まちづくり市民会議で使用した主な資料

I. 観光振興に関する法律等

- ・観光立国推進基本法（平成19年観光基本法から改定）
- ・観光圏整備法（平成20年7月施行）
- ・景観法（平成16年12月施行）
- ・エコツーリズム推進法（平成20年4月施行）
- ・中小企業地域資源活用促進法（平成19年5月施行）
- ・文化財保護法（昭和25年5月施行）

II. 太田市の観光に係る計画、条例、構想

- ・新生太田総合計画
- ・太田市環境基本計画（及び条例）
- ・太田市緑の基本計画（及び緑化条例）
- ・太田市景観計画（及び条例）
- ・太田市文化財保護条例
- ・太田市観光案内所条例
- ・太田市ふれあい農園条例
- ・太田市市民農園条例
- ・太田市都市計画マスタープラン
- ・次世代エネルギーパーク構想
- ・太田市バイオマスタウン構想
- ・里山自然整備構想（八王子丘陵）

III. 太田市関係の資料

- ・太田市まちづくり基本条例解説編
- ・平成21年度太田市の概要
- ・太田市内指定文化財一覧表
- ・太田市のイベント（一覧表）
- ・「（仮称）道の駅おおた」の概要
- ・観光開発プロジェクト（観光スポットアンケート調査結果）
- ・太田観光再発見バスツアー参加者会アンケート
- ・太田金山登城御城道散策マップ他

IV. その他の資料

- ・観光まちづくりガイドブック（アジア太平洋観光交流センター）
- ・はばたけ群馬観光プラン
- ・群馬県が目指す新しいスタイルの「道の駅」のありかたについて
- ・観光立国推進戦略会議報告書（観光立国推進戦略会議）
- ・観光振興に関する国の法律、計画、報告等（委員が調査）
- ・「日本の景観とまちづくりを考える全国大会」参加報告
- ・平成 21 年度東部県民局県政懇談会（講演：観光振興は地域づくり）参加報告
- ・その他広報「おおた」や新聞記事等

② 太田市のイベント

月	イベント名	開催日	市主催	主催者	担当課(関係課等)	来場者数(人)	マスコミへの情報提供	
							有無	提供方法
1月	全日本実業団駅伝競走大会	1月1日		日本実業団陸上競技連合	スポーツ振興課	10,000	無	群馬県の担当課が対応
	新春上州太田七福神めぐり	1月上旬の日曜日	▲	太田市観光協会	商業観光課	1,000	有	記者クラブへ資料提供
2月	(駅なか文化祭【オープニング記念イベント】)	2月28日		オープニング記念イベントのみ	文化事業課	1,200	有	記者クラブへ資料提供
	老人福祉文化祭	2月18日・19日	▲	太田市老人クラブ連合会	元氣おとしより課			
3月	かたくりの里(丸山薬師)	3月下旬	●	太田市(公園)	農村整備課	-	-	-
	おわた芝桜まつり	3月下旬~4月下旬	▲	おわた芝桜まつり推進協議会	花と緑の推進課	150,000	有	記者クラブへ資料提供
	まちなかふれあいパーク	3月15日		NPO法人くらすせ	太田行政センター	1,000	有	記者クラブへ資料提供(行政センターだより)
	縁切寺満徳寺遺跡公園桜ライトアップ	3月26~29日	●	太田市	文化財課	42	有	記者クラブへ資料提供、メール・FAX送信
4月	上州太田グリーンマーチ	4月中旬		太田市ウォーキング協会	商業観光課	1,400	有	後援依頼(朝日新聞販売店、上毛新聞、群馬テレビ、太田タイムス社)
	八瀬川桜まつり	4月上旬		八瀬川桜まつり実行委員会	太田行政センター	2,000	有	記者クラブへ資料提供(行政センターだより)
	関東山野草展	4月下旬~5月上旬	▲	関東山野草展実行委員会	商業観光課	80,000	有	記者クラブへ資料提供
	大慶寺のぼたん	4月下旬~5月上旬		大慶寺	商業観光課	2,500	無	-
	れんげの里まつり	4月26日		れんげの里まつり実行委員会	鳥之郷行政センター	5,000	有	記者クラブへ資料提供(行政センターだより)
5月	生品神社 鎬矢祭	5月8日		生品神社	生品行政センター	100	無	-
	太田市民さつき祭	5月下旬~6月上旬	▲	太田市民さつき祭実行委員会	商業観光課	80,000	有	記者クラブへ資料提供
6月								
7月	おわた夏まつり	7月下旬の土・日曜日	▲	おわた夏まつり実行委員会	太田・九合行政センター	90,000	有	記者クラブへ資料提供(行政センターだより)
	世良田八坂神社祇園	7月第4土曜日		世良田八坂神社	世良田行政センター	2,000弱	有	電話・FAXなど
8月	藪塚まつり	8月第1土曜日	▲	藪塚まつり実行委員会	藪塚本町行政センター	3,000	有	記者クラブへ資料提供
	新田まつり	8月第2土曜日	▲	新田まつり実行委員会	生品行政センター(21年度)	30,000	有	記者クラブへ資料提供、FAXなど
	尾島ねぶたまつり	8月14日・15日	▲	尾島ねぶたまつり実行委員会	商業観光課	150,000	有	記者クラブへ資料提供
	太田市花火大会	8月第4土曜日	▲	太田市花火大会実行委員会	商業観光課	平成21年度実施なし	-	-
9月	大光院開山忌			大光院	-	-	-	-
	太田市にっただ花トピア	9月下旬~10月中旬	▲	太田市(花)、太田市新田商工会(イベント)	農業政策課	65,100	無	電話での問合せに回答(太田市広報へ掲載)
10月	太田松茸道中	10月第1日曜日	▲	太田市青少年のつどい実行委員会	青少年課	200	有	記者クラブへ資料提供
	やぶ塚かかし祭り	10月上旬	▲	やぶ塚かかし祭り実行委員会	商業観光課	40,000	有	記者クラブへ資料提供
	関東菊花大会	10月下旬~11月下旬	▲	関東菊花大会実行委員会	商業観光課	150,000	有	記者クラブへ資料提供
	太田スポレク祭	10月下旬	▲	太田スポレク祭実行委員会	スポーツ振興課	150,000	無	電話での問合せに回答(太田市広報へ掲載)
11月	RC航空ページェント	11月3日	▲	櫛電波実験社	商業観光課	40,000	有	記者クラブへ資料提供
	産業環境フェスティバル	11月上旬~中旬	▲	太田市産業フェスティバル実行委員会	工業政策課	30,000	有	記者クラブへ資料提供
	おわたイルミネーション	11月下旬~1月31日	▲	おわたイルミネーション推進協議会	花と緑の推進課	71,200	有	記者会見
	(農業祭【産業環境フェスティバルに統合】)	11月			農業政策課			
12月	大学JAZZフェスティバル	12月上旬	●	太田市	文化事業課	4,000	有	記者クラブへ資料提供、新聞広告掲載、ラジオCM

※主催欄は、市が主催や管理しているものは●、実行委員会が主催し事務局が市にあるものは▲、空欄は民間団体等の主催のもの。

※駅なか文化祭はオープニングイベントにつき今年は開催なし。農業祭は産業環境フェスティバルへ統合。

※来場者数は概算の人数を掲載。

■太田市観光振興についての提言書■